

## 第1 基本方針

天草地域の農業は、海岸島しょの温暖な気候を活かして、早期水稻、カンキツ類、野菜、花きなどを組み合わせた複合経営が営まれている。

カンキツ類では、不知火系統（デコポン）、「河内晩柑」、ポンカンなどを主体とした中晩柑類が特産品として定着しているが、近年の温暖化の中で生育特性の変化や障害果等の発生で生産が不安定化してきている。また、生産者の高齢化も進み、軽労働化対策も必要となっている。一方、温暖化の進展に伴い亜熱帯果樹の導入環境が整いつつあり、天草地域に適する新品目が期待されている。

このようなことから、天草地域の気象条件を最大限に活かし、高品質・低コストの売れる農産物づくりにより農業農村の持続的な発展を図るため、適応品目や品種の選定、生産安定、品質向上技術の確立に向けた試験研究に取り組む。

## 第2 重要研究事項

### 1 天草地域の魅力を発信できる新品種の選定

亜熱帯果樹として近年注目されているアボカドについて、天草地域に適した品種の選定と連年安定生産を目指し、植え付けから初着果までの管理技術を確立する。

### 2 天草特産果樹の高品質果実生産技術の開発

天草特産果樹である「河内晩柑」の高品質果実安定生産のため、ヒリュウ台「河内晩柑」の生産安定技術を確立する。

露地栽培不知火系統では、早急な解決が求められている品質低下や果皮障害軽減技術を確立する。

また、新品種「熊本EC12」は、天草地域での栽培も期待されていることから、天草での特性を把握し、早期成園化に向けた栽培技術を確立する。

### 第3 試験研究課題一覧

【天草農業研究所】

部門	大課題	中課題	予算		小課題	試験期間
			金額	区分		
果樹	1. くまもとの魅力を発信できる新品種の開発・選定	(1) アボカドの優良品種の選定および連年安定生産技術の開発	1,320	県単	天草地域に適した優良品種の選定 定植方法及び初着果までの管理技術の確立	R1～R3 R1～R3
		(1) 天草地域特産果樹の生育把握と栽培技術の改善	1,483	県単	カンキツ・ビワの生育状況・収量予測 ヒリュウ台「河内晩柑」の生産安定技術の確立  はR2に終了	H26～継続 R2～R4
	<b>新規</b> (2) 天草地域における新品種「熊本EC12」の早期成園化に向けた栽培管理技術の確立	1,135	県単	天草地域における「熊本EC12」の生育・栽培特性の把握 「熊本EC12」初着果時の着花管理技術の確立	R3～R5 R3～R5	
	(3) 気候変動に対応した露地栽培「肥の豊」の高品質果実出荷安定技術の確立	500	県単	秋期以降の土壌水分管理による高品質果実生産技術の開発 「果樹研究所、天草農業研究所」 果皮強化による果皮障害軽減技術の開発 「果樹研究所、天草農業研究所」	R2～R4 R2～R4	

注) **新規**：本年度から新たに取り組む課題

**組替**：課題設定時の内容を組み替えて設定する課題

**延長**：課題設定時の完了予定年度を延長して設定する課題

**短縮**：課題設定時の完了予定年度を短縮して設定する課題